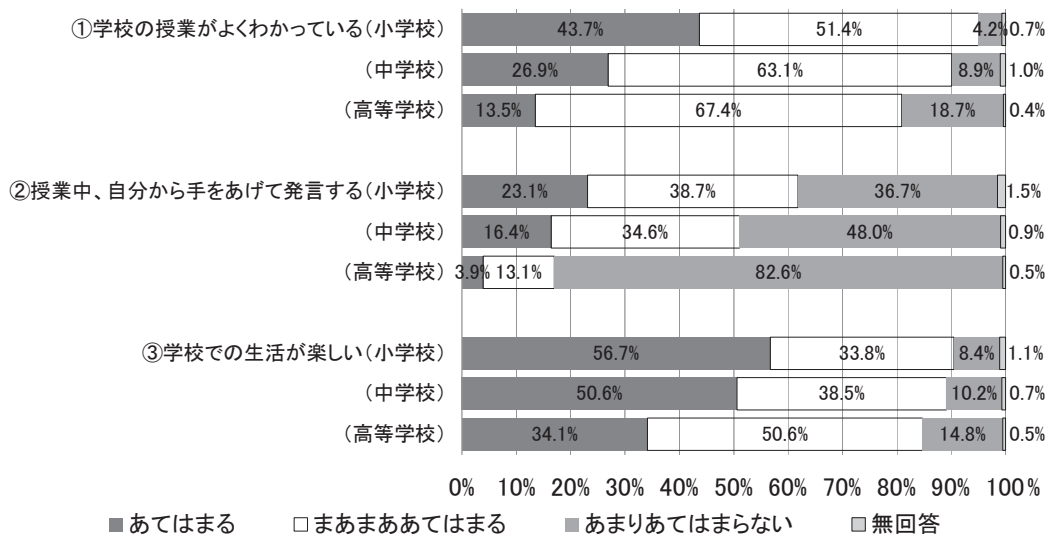


(2) 高校教育の充実

現状と課題

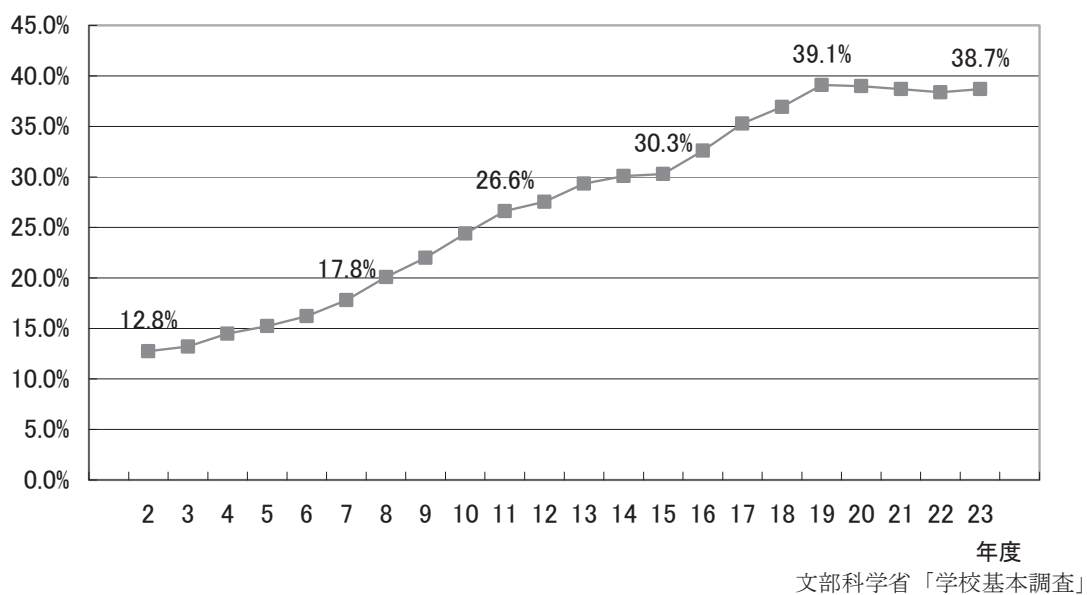
- 多様な学科開設や教育課程の弾力化等により生徒の個性を伸ばす教育を進めてきましたが、一部の高校で英語科が見直され普通科に転換されるなど生徒のニーズに見合った検証が必要となっています。
- 中学校卒業生の約98%が高等学校に進学していますが、生徒の中には、学ぶ目的の喪失や学習意欲の欠如、家庭学習時間の減少などの課題を抱える生徒がいます。
また、各学校において卒業までの間に何を身に付けさせているのかが見えにくくなっているとの指摘もあります。
- 半数近くの高等学校で、小・中学校の学習内容の「学び直し」が行われており、また、学力上位層が他県と比較して少ない傾向もあるため、小中高が連携した学力向上の取組が必要となっています。
- 高校教育の質の保証に関して、子どもたちの多様化へ対応する一方で、どのような人材を育成し、その力を育むのかという成果の視点で高校づくりを考えることがより重要になってきています。
- 県内高等学校の生徒のうち17.1%が私立高等学校に在籍しており、それぞれの学校が建学の精神に基づく教育活動を展開することで、本県の高校教育の発展に貢献しています。

図1-(2)-1 「学校生活」に関するアンケート調査



次世代サポート課「青少年生活意識調査」平成23年度

図1-(2)-2 4年制大学現役進学率（県内公立高等学校）



第1次計画の成果と課題

- 近年、家庭の経済状況の悪化や大学生の厳しい就職状況等から、大学進学よりも就職を選択する生徒が増加する傾向があり、4年制大学現役進学率が目標達成困難な状況です。今後も、生徒が希望する進路選択ができる学力向上を進めていく必要があります。

【第1次計画 目標達成見込】			
達成目標	目標値	H23 実績値	達成予測
4年制大学現役進学率（県内公立高等学校）	40.0%	38.7%	達成困難

成果目標

- 基礎的な学力の習得に加え、生徒が基礎的・汎用的能力*を身に付けられるようにします。
- 生徒のニーズに則した教育課程の弾力化や内容の工夫により、学ぶ意欲や目的意識をもった生徒を育てます。
- 平成30年以降に実施予定の第2期長野県高等学校再編計画を策定します。

測定指標

測定指標項目	現状値	平成29年度の目標	備考
「学校の授業が理解できている」と答える生徒（高2）の割合	75.3% (平成24年度)	80.0%	教学指導課「高等学校意識調査」
長野県学力実態調査（高2）での基礎学力定着度（正答率）	国語 63.4% 数学 58.9% 英語 58.0% (平成21年度)	国語 65.0% 数学 60.0% 英語 60.0%	教学指導課「高等学校学力実態調査」
専門学習に関わる競技会や大会（北信越大会以上等）に出場した個人・団体数（専門高校*）	146人・団体 (平成24年度)	156人・団体	教学指導課調べ
第2期長野県高等学校再編計画の策定	—	策定	

主な施策の展開

高校教育を充実するために、次のような取組を進めます。

① 魅力ある高校づくり

- 県立高等学校において時代と生徒のニーズに合った教育課程の弾力化を推進し、個性豊かな魅力ある高校づくりを推進します。【教学指導課】

② 高校教育の質保証

- 第1期高等学校再編計画の着実な推進と適切な評価を実施するとともに、人口減少社会に対応し高校教育の質保証と多様性を確保する第2期高等学校再編計画の策定に取り組みます。【高校教育課】
- 高等学校における学力実態・意識調査の実施等により、基礎学力の確実な定着と「伸びる力」を一層伸ばすための指導内容の工夫や、授業における観点別評価を進めます。【教学指導課】

- 生徒の知識・技能を活用する力や思考力、表現力等を向上するため、学校での様々な学習活動において、発表（プレゼンテーション）等の取組を推進します。【**教学指導課**】
- 中学校と高等学校間の教育課程・方法上の接続を考慮した研修などにより、生徒の基礎的な学力の保障や学ぶ意欲の向上などに取り組みます。【**教学指導課**】
- 学習合宿や進学対策集中講座などを実施します。【**教学指導課**】

③ 私立高等学校の振興

- 私立高等学校がその自主性にに基づき特色ある教育の展開ができるよう、私立高等学校の運営に要する経費について、私立学校教育振興費補助金により助成を行います。【**情報公開・私学課**】



信州赤ひげ塾



長商デパート



全国造園デザインコンクール図面製作